

テーマ：新世代の走査型プローブ顕微鏡技術をめざして

1980 年代に登場した走査型トンネル顕微鏡 (STM) や原子間力顕微鏡 (AFM) をはじめとする走査型プローブ顕微鏡 (SPM) は、ナノスケール現象を可視化し、ナノ物性測定の新境地を開いてきた。応用範囲も、原子・分子操作やナノリソグラフィへと広がった。まさしく SPM はこの 20 年に登場した“ 新型装置 ” として極めて刺激的なものの一つであった。現在、SPM 第一世代の成熟とともに、若い世代の台頭によってその展開はさらに広がろうとしている。そこで、今注目を集めている SPM 関連の若手研究者を中心に講演頂くこととした。普段では聞くことができないようなことも含めて時間をかけて討議し、SPM 関連の科学技術動向を探索する。

関心のお持ちの方々の積極的な参加を期待しております。

日程：平成 21 年 1 月 29 日 (木) 13 時 00 分より 17 時 50 分

場所：石川県金沢市武蔵町 14 番 31 号

IT ビジネスプラザ武蔵 交流室 2

Phone: 076-224-6340

Fax: 076-224-8788

e-mail info@bp-musashi.jp

http://www.bp-musashi.jp/guide/about/index.html

JR 金沢駅から徒歩 10 分、バスで 2 区間 (武蔵が辻) 下車、タクシーで 3 分

(「 めいてつ・エムザ 」 スタジオ通り下堤町側エレベータをご利用下さい。)



プログラム

- 13:00-13:10 はじめに 富取正彦（北陸先端科学技術大学院大学）
- 13:10-14:00 近接場光学顕微鏡による局在プラズモンの研究 井村考平^{1,2}、岡本裕巳¹（¹分子研、²JSTさきがけ）
- 14:00-14:50 非接触原子間力顕微鏡を用いた原子操作と原子識別 阿部真之^{1,2}、杉本宜昭¹、森田清三¹
（¹阪大工、²JSTさきがけ）
- 14:50-15:10 休憩（20分）
- 15:10-16:00 放射光励起走査トンネル顕微鏡によるナノスケール元素識別イメージング
奥田太一¹、江口豊明¹、秋山琴音²、木下豊彦³、長谷川幸雄¹
（¹東大物性研、²東北大学、³JASRI）
- 16:00-16:50 原子間力顕微鏡による1分子生物物理学への挑戦
川上勝、谷口幸範（北陸先端科学技術大学院大学）
- 16:50-17:40 周波数変調方式原子間力顕微鏡を用いた生体高分子の液中高分解能観察
大藪範昭^{1,2}、井戸慎一郎¹、木村建次郎³、Sebastian Rode⁴、Angelika Kuhnle⁴、
平田芳樹⁵、小林圭¹、山田啓文¹、（¹京大工、²JST/先端計測、³神戸大・理、⁴
Univ. of Osnabruck, ⁵産総研）
- 17:40-17:50 おわりに 山田 啓文（京大）

参加費：無料

夕刻に懇親会（企画中）

申込先： 懇親会への参加希望の有無を含め、事前登録をお願い致します。

世話人 富取 正彦

〒923-1292 石川県能美市旭台 1-1

北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス研究科

phone: 0761-51-1501
fax: 0761-51-1149
e-mail: tomitori@jaist.ac.jp